



2020・2・1

第 363 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 「国民に期待されている運動」に確信

### 3000 万の成果バネにさらに

【新潟県／新潟県 9 条の会】 1 月 19

日、県 9 条の会の拡大事務局会議が開催されました。3 地域の 9 条の会の発言を紹介しします。

《柏崎・刈羽 9 条の会の清水さん》人口 85000 人余の柏崎刈羽地域で 2 万の目標をやり抜いた経験を報告。

取り組みを開始し数か月で 17000 筆まで到達させた地域の労組や団体を含めた奮闘は、「この地域でこれまでやったことのない取り組みだった」。途中、運動が進まない状況に陥る場面でも、「決めた目標はやり切ることが大事だ」と議論を重ねました。地域ローラーで、留守であっても玄関先に「ご苦労様です。よろしくお願ひします」とメモをつけて署名に協力してくれる人、署名欄に目いっぱい署名を集めて待っていてくれた人、カンパを 5 千円、1 万円と出して署名をしてくれた多くの人があることなど、「こんなことがあったよ」「こんなに期待され、大事な運動です」というこ

### 改憲が全ての集約点—安倍施政方針

<前略> 社会保障をはじめ、国のかたちに関わる大改革を進めていく。令和の新しい時代が始まり、オリンピック・パラリンピックを控え、未来への躍動感にあふれた今こそ、実行の時です。先送りでは、次の世代への責任を果たすことはできません。

国のかたちを語るもの、それは憲法です。未来に向かってどのような国を目指すのか。その案を示すのは、私たち国会議員の責任ではないでしょうか。新たな時代を迎えた今こそ、未来を見つめ、歴史的な使命を果たすため、憲法審査会の場で、共に、その責任を果たしていこうではありませんか。<後略>

とをニュースで知らせながら目標に向かって昨年 11 月末で達成したことを報告。

今後の運動について、県も全国も目標まで行っていないから、目標を引き上げて続ける提起をしていたのですが、新しい署名の提起もあるので、新たな局面を迎えてい

ることなので新署名で新たな運動として進める方向で相談したい。

《弥彦9条の会の佐藤さん》結成されてから4年間の弥彦村での変化を報告。会員は120名、人口8013人、世帯数2752世帯、有権者6924人。一昨年の県知事選挙で野党統一候補の打越さくらさんが自民党候補に350票の差をつけて勝利していることを紹介しながら「昔から超保守的な弥彦村といわれていますが、その村で自民党候補より多数派であることは、驚きに値することだ」と紹介。

3000万人署名では、当初目標の2500筆を2018年の12月の時点で超過達成し、人口の過半数に目標を引き上げ、目標達成まであと300筆に迫る前進を作り出している大奮闘の活動について報告。

「住宅地図に署名をいただいた家をマーカーし、同じ地域に何回も入って、署名をいただいていない家の訪問署名活動を行い、弥彦村内をくまなく入ってきた」、土曜日の訪問署名活動は合計20回、参加者は125名に。「秋まで3500筆という目標掲げ3657筆で超過達成」、署名を頂いた世帯数が25%の世帯に「署名目標」と「世帯数の目標」を持って運動を進めてきていることを報告。

この運動で、これまで活動らしい活動には全く参加したことのない方が、畑仕事をしている人と対話、弥彦公園や「分水の道の駅」で、競輪に訪れた人にも、分け隔てなく「戦争に反対ですか」と切り出し声をかけ、一人で1000筆を超える署名を集めている人の活動を紹介。「この方には『ひた向きさ』と『粘り強さ』がある」と。

「署名に応じてくれなかった人ほどチラシを読んで欲しい」とチラシを渡し、声をかけて、「チラシ消費量NO1」で一人で500筆を集めている方が、昨年の夏ごろからは吉田駅前一人でスタンディング宣伝を開始、高校生との対話を楽しみにやっている活動を紹介。「楽しくやるが『署名のコツ』のようです」と。4000筆達成するまでは継続していきたい。新署名は、会員にニュースと一緒に届け、知人友人に広げてもらうことから始めたい。新興住宅地を中心に返信用封筒もセットして配布する活動も考えたい。楽しく、明るく、元気に励まし合いながら活動に取り組んでいきたい。

《魚沼9条の会の大平さん》会結成以来10年の粘り強い活動が、地域の様々な運動の土台を築き、「総がかり」運動、3000万人署名の運動で目標達成の活動に繋がっていることを報告。「3000万署名を進める魚沼の会」に参加する諸団体・個人の署名到達の取りまとめ・整理をしながら運動を進め、1万筆目標の達成ができた。諸団体、個人の緩やかな連帯であるが、みんなが「これは大事なことだ」ということを認識して一生懸命頑張ってきた。新教組なども大きな力を発揮してくれた。この活動を通じて、新しい絆が広がり、一層連帯が深まっている。16年の参院選、19年の参院選、2回の知事選を闘ってくる中で、お互いの繋がりが密になり、「市民と野党の共闘」が強まり、参院選で野党統一候補を当選させ、改憲勢力3分の2割れに貢献できた。選挙でも力が発揮できるようになってきている。

(「新潟県9条の会」No89)

## 学生らが岩国基地調査の報告

【愛媛県／愛媛9条の会】 愛媛9条の会は26日、松山市で1月例会を開きました。愛媛大学の学生がフィールドワークなどで調べた米軍岩国基地（山口県岩国市）の実態や日米地位協定の実態などについて報告しました。

学生たちは「くらしの中の基地・平和」と題し、岩国基地を訪れて調査、また基地問題の背景にある日米地位協定などを学んだ内容を報告し「本やメディアの情報だけでは分からないことがある」と語りました。

例会後、県内9条の会の交流会が開かれ各地の21の9条の会から45人が参加。スタンディングや宣伝、映画会、憲法カフェ、会報発行など粘り強い草の根の活動が報告され、安倍9条改憲阻止への決意が語られました。

## 中東派兵反対の訴えに反響

【神奈川県海老名市／海老名9条の会】 海老名9条の会は1月11日、海老名駅前で行った宣伝、新署名を訴えました。約1時間の行動で64人の署名が寄せられました。

スピーチでは、自衛隊の哨戒機が中東に出発する際に、隊員の家族が泣いていたことが報道されたことを紹介、日本政府がとるべき行動は9条にもとづく平和外交に徹することだ、などと訴えました。小さな子どもの手を引く母親が「平和は守りたい。活動ありがとうございます」と署名、80歳の男性は、「安倍さんの国民無視はひどい。早く退陣してほしい」と署名。

署名活動に初めて参加した女性は「高校生が自衛隊の中東派兵は反対と言っていたし、戦争体験者が署名してくれたこともうれしかった」などと感想を述べていました。

## ローマ教皇の核廃絶訴えに共感

【北九州市／「九条守りたい」】 キリスト者九条の会北九州の女性会員がつくる「九条守りたい」は25日、北九州市小倉北区で定例会を開きました。例会冒頭に平和を願う賛美歌「このこどもたち」を参加者全員で斉唱しました。

講師として招かれた日本共産党の仁比総平前参院議員が「どうなる？平和憲法」と題して講演。昨年11月に来日したローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇が長崎・広島での発言で示した核兵器廃絶に向けた強い決意が、日本共産党28回大会でも大きくとりあげたことを紹介。「目指している方向はローマ教皇と全く同じだ」と述べました。その上で仁比氏は、安倍首相が改憲に強い意欲を示していることを批判し、参加者から共感の声が寄せられました。

参加者からは、野党共闘の前進に希望が持てた」など、期待の声が寄せられました。

## 国会無視の中東派兵を糾弾

【和歌山県／憲法9条を守る和歌山弁護士会】 「和歌山弁護士の会」は21日、第67回「憲法の破壊を許さないランチ TIME デモ」を実施し、60人が参加しました。

出発に先立ち藤井幹雄弁護士は、安倍晋三首相が通常国会施政方針演説で「桜を見る会」疑惑にいっさい触れず「国のかたちを語るもの。それは憲法」「（改憲案を示

すのは国会議員の責任)と改憲執念をむき出したことを糾弾し、「今中東情勢が一触即発のところきているが、政府は閣議決定で簡単に決めて、中東へ自衛隊を派遣した」「今年こそ安倍改憲のたくらみをぶっこわす一年にしよう」とよびかけました。また、緊迫する中東情勢のなか自衛隊派兵を閣議決定だけで決めたことを「集団的自衛権のときと同じ。こんなことを許してはならない」と訴えました。

参加者らは憲法9条守れなどとコールしながら市内を行進しました。

## 中東派兵より国の自立めざせ

【青森県／青森県九条の会】 青森県九条の会は22日昼、青森市の商店街で「安倍9条改憲NO!改憲発議に反対する全国緊急署名」を広げる街頭署名行動に取り組みました。

「桜を見る会の説明責任には一言も触れず改憲を叫んでいて、やっぱり、あの人(安倍首相)は異常だと思った」(70歳・男性)、「9条の改憲だけは反対」(60代・女性)など市民が自分の思いを語り、署名を積み上げました。

参加者に自衛隊の中の思いを伝えた人もいます。「安倍のアメリカべったりの外交を見てきて、じわじわ危険だと思うようになってきた。憲法改正よりも、アメリカに依存しない自立した国になることを目指すことが大事かもしれない」と

「署名ありがとうございます」と声をかけられた女性(70代)は、「父は戦死しました。これ(9条改憲)は必ず止めたいです」と静かに語りました。

## 街頭宣伝が550回続いた秘訣

【新潟県加茂市／加茂9条の会】 加茂市で14日朝、通算550回目のピーススタンディングが行われ、目抜き通りの交差点で「変えるな9条、変えようアベ政治」「力を合わせて9条を守ろう」などのプラカードを掲げてアピールしました。

主催は「加茂・九条の会」。2015年の安保法制反対の時に始まり、毎週月曜の朝(月曜が休みの場合命は火曜の朝)と土曜の昼に加え、毎月3日と19日にも行動しています。

代表の鶴巻大陸(だいろく)さんは「すっかり定着した」と話しています。「最近では通勤の人も『またやっているな』という反応です。安倍さんには、今年辞めてくれることを期待しています」と話しました。

事務局の押見隆さんは「毎回参加するのは10人前後。会員には「最後の5分間だけ」と呼びかけています。ゆるくやるのが長続きするコツです」と話します。

## 若者相手に署名集めるには

【滋賀県／山中比叡平九条の会】 一人で若者中心に改憲反対3000万人署名を6200筆も集めた女性が登場。

高校や大学の公道で、まずは彼等の目を見ながら挨拶、自己紹介する。そして憲法・政治・戦争などに関するビラや憲法漫画を使って丁寧に説明する。彼らは、日本が戦争する国になれば自分たちが戦争に行かされることを知っており「若者は保守」ではない。さらには改憲に賛成する人との対話法など貴重なお話しでした。

(第15回総会の活動紹介発言から)